



2018 11月

No.151

発行：西米良村議会

にしめら  
議会だより

小川 月の神楽



# 平成29年度 決算認定

# 効率的な 予算の執行を!

平成30年第3回村議会定例会は、9月18日から25日までの8日間の会期で開催されました。議長報告、委員長による活動報告、行政報告、決算審査報告などの報告8件、補正予算などの議案10件、決算認定7件を審議し、すべて全会一致で可決しました。

また、2名が一般質問を行いました。

## 平成29年度一般会計・特別会計歳入・歳出決算

会計名	歳入	歳出	実質収支
一般会計	29億5467万円	28億5307万円	8901万円
特別会計			
国民健康保険事業	3億3644万円	2億9419万円	4225万円
国民健康保険診療施設勘定	2億8080万円	2億7075万円	1005万円
介護保険事業	2億3593万円	2億1030万円	2563万円
後期高齢者医療事業	2449万円	2183万円	262万円
簡易水道事業	1億5048万円	1億4766万円	282万円
下水道事業	2514万円	2308万円	206万円
合計	40億795万円	38億2088万円	1億8707万円

※一般会計の実質収支については、翌年度繰越財源を除くため一致しない。

## 特別会計の状況

国民健康保険事業	加入状況 188世帯 被保険者数 301人
国民健康保険診療施設勘定	入院患者 1,995人 外来患者 10,662人 歯科 1,258人 合計 13,915人が利用
介護保険事業	加入状況 356世帯 被保険者数 498人
後期高齢者医療事業	被保険者数 306人
簡易水道事業	給水世帯 456世帯 給水人口 754人 普及率 65.5%
下水道事業	下水道、合併浄化槽を合わせて 964人 普及率 83.8%

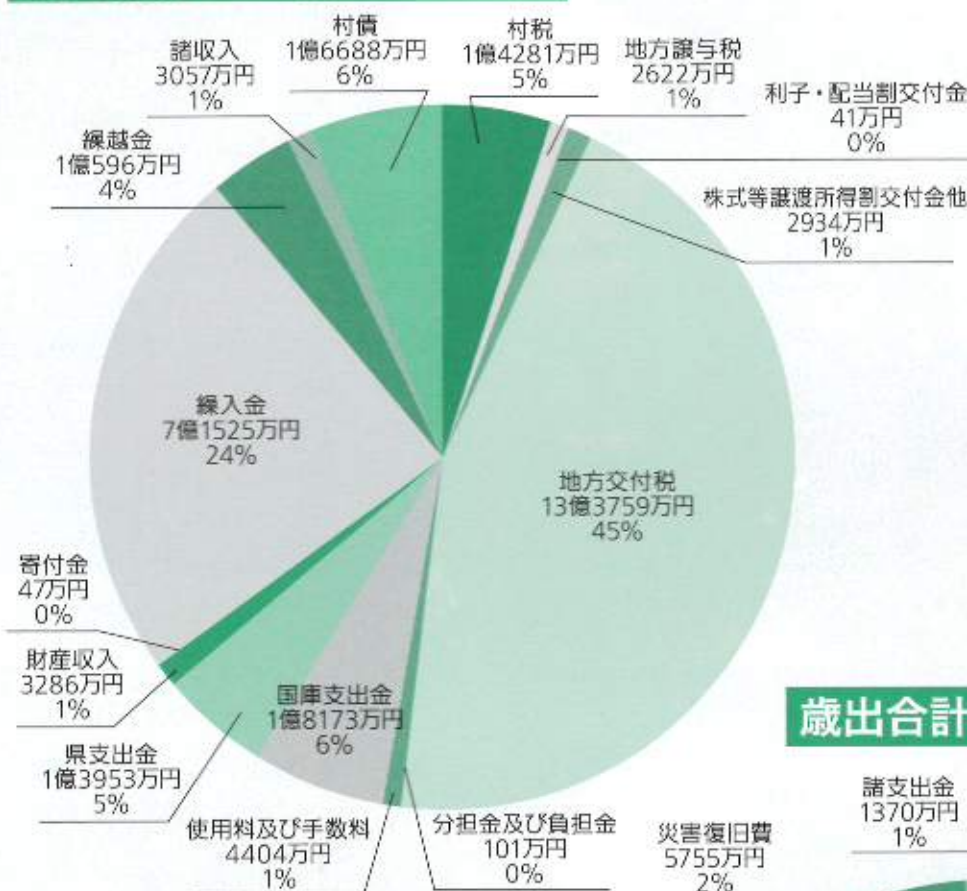
例月現金出納検査、定期監査、決算審査と時には厳しく指摘や指導もさせていたが、一般会計、特別会計共に村長を中心に村の発展、村民の幸福を求めて一丸となって努力されていると思います。

村の人口も各種の対応施策により1千100人を維持していますが、この1千100人余りの村民もボランティア活動や各種の職種等に1人2役、3役もこなしながら、わが村のためにと頑張っています。

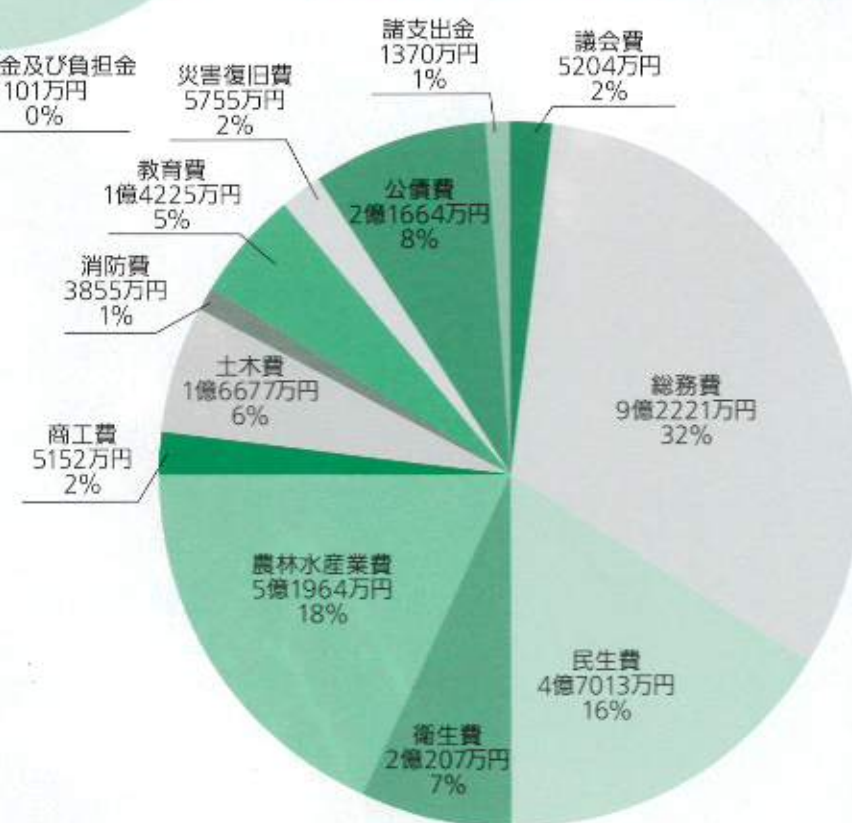
今後とも村民が「この村に住んで良かった」と思われる施策を積極的に進められ、更なる西米良村の振興発展に努めていただくことを要望し、審査意見といたします。

## 決算審査報告

## 歳入合計 29億5467万円



## 歳出合計 28億5307万円





# 平成29年度 決算認定質疑

## ◆一般会計

- 問1** ふるさと納税の取り組みの方向性は？
- 答1** ふるさとを思う方々の気持ちを尊重し、本制度の趣旨に従い適正に地場産品の返礼品を考えている。
- 問2** LED切り替えに伴う、村道2号線、トレーニング施設、健康増進広場、山村広場の電気料の状況は？
- 答2** 村道2号線では約半分、健康増進広場では2～5万円の間、トレーニング施設では約3万円、山村広場では3万7千円それぞれ減額となっている。
- 問3** 地域づくり推進事業の委託内容は？
- 答3** 平成の桃源郷の村づくりに関する資料や助言の報告書作成が35回と上米良地区において薬剤師の里づくりを行っている。また訪問調査では年間5回、延べ11日間、意見交換やアドバイス業務を行っている。
- 問4** フツ化物洗口の現在の効果は？
- 答4** 全国的なデータを見ても長期的にフツ化洗口を行うことで虫歯になりにくい効果が見られることと歯の健康に対する意識が高まり親子で歯磨きをする意識付けにもなっている。今後も継続していきたいと考えている。
- 問5** ワーキングホリデーと米良バイトの違いと今後の展開は？
- 答5** 事業形態はかなり類似しているが、米良バイトの特色は夏休みなどの期間に学生に募集をかけて働いてもらうやり方で、一般の方に募集していたワーキングホリデーとは違った取り組みと認識している。また西米良に来たことが無い学生がほとんどなので西米良を楽しんで頂き地域の力に繋がるように今後も継続して行っていきたいと考えている。
- 問6** 双子キャンプ場整備基金でどの様な施設になるのか、また今後のスケジュールについては？
- 答6** 現在、検討段階で構想、計画等を作成している所で、平成32年度以降の工事となる。整備の内容は新たな宿泊棟の整備や急峻な入口の改善工
- 事、地盤工などで内部検討委員会を立ち上げ検討を行っている。できればコテージの一部を運営しながら工事を進めていければと考えている。
- 問7** 猿のくくり罾の補助の考えはないか？
- 答7** くくり罾の効果があると聞いている。今後、罾の補助をしたいと考えているが補助率については検討中である。
- 問8** 登山口記載台の利用状況と看板製作委託料の説明を？
- 答8** 特に周知はしていないが問い合わせがあった時に記載をして登山してくださいと案内している。今後、注意の喚起や記載台等への表示を行っていきたいと考えている。看板製作委託料は各山
- の1合目から9合目の表示看板を整備した。
- 問9** 学力向上事業のセミナーと塾の状況は？
- 答9** 夏季休業中にセミナーを開催し一週間講師に来てもらい指導をして頂いている。塾については通年、月曜日の17時半～19時まで行っている。成果としては数学が他の教科と比べても伸びが見られ、ある一定の成果は出ていると評価しているが、全体の状況を見ると学年差、個人差があるので個別に見ながら学力の推移を見ていく必要があると感じている。
- 問10** タブレット端末の今後の活用と新たな取り組みは？
- 答10** 個の能力に応じた学習ドリルを繰り返し行うために2学期から5、

- 6年、中学生に持ち帰らせ試行している。うまくいけば全学年に広げるとも可能ではないかと考えている。
- 学校だけではなくオフレインでも使えるような取り組みをしながら機器を使う力や情報収集し加工発信する取り組みができれば子供たちの将来や広い学力に繋がって行くのではないかと期待している。
- 問1** 医療費抑制のための効果的な対策は？
- 答1** これまで行ってきた取り組みをさらにしっかりと取り組むことが今後必要になってくると考えている。
- 具体的な取り組みとして、検診受診率を上げ病
- 気の早期発見・早期治療に繋げることで重症化を防ぐ取り組みと重複多重医療機関の重複多重受診者の適切な診療方針の説明と後発医薬品、ジェネリックの推進をすることによって医療費の削減に繋げたいと考えている。



## ◆診療所

- ながる環境下では最新の保健指導が確認でき、また動画で配信されているため最新の保健指導の方法を見ることができ、日々研究をしながら指導させて頂こうと考えている。
- 問1** 小川診療所の受診状況は？
- 答1** 毎月第1金曜日に訪問診療をしている。月平均が8～9名で年間延べ94人の受診となっている。
- 問2** 搬送車の運転手の状況は？
- 答2** 搬送の状況は年間50件ほどで平日の昼間は診療所と福祉健康課の職員で対応し夜間は嘱託で4名の方をお願いしている。
- 問3** 代直医師の状況は？
- 答3** プレストピア宮崎病院から火・木曜の午前中の応援診療、県立宮崎病院の研修医の先生に月2回夜の当直勤務で、土・日・祝日等の代直については年間23回ほど来て頂いている。他に江南病院から月1回と30年9月から三財病院より火曜の1日、10月からは月7回来てもらう計画である。
- 問4** 看護師の確保は？
- 答4** 募集をかけているが応募がない状況で、看護協会や看護大学に向き募集の周知も行っているが難しい状況だ。今年の採用試験では年齢の上限を上げさせて頂いたが応募がなかった。今後も検討を重ね看護師
- の確保に努めたいと思う。
- ◆介護保険事業**
- 問1** 介護予防運動教室運営委託料の内容は？
- 答1** 要介護状態などの予防のため、いきいき教室を現在5地区で開催し、いきいき体操を行っている。127回の開催で延べ1千167名の方に参加して頂いている。
- 問2** 福祉用具購入費、住宅改修費の内容は？
- 答2** 福祉用具購入は9割補助でポータブルトイレ2台と浴槽に置く台を1台、住宅改修については9割補助で段差の解消と手すりの設置が2件。



◆後期高齢者医療事業

問1 繰出金の不用額について代表監査委員の指摘では事務的ミスとある。今後担当者の指導等含めどのような対策をとるのか？

答1 人為的ミスであり大変申し訳ないと思っている。予算の執行を後伸ばしにせず早めに執行するように徹底して指導させて頂く。

◆簡易水道事業

問1 今後の簡易水道事業の予定や計画は？

答1 30年度に八重地区水道組合の取水口の整備を予定している、残っている地区は上米良水道組合、田無瀬水道組合、竹原水道組合の3つが未普及の地域となっている。

◆下水道事業

問1 段階的な施設の修繕計画をどのように行うのか？

答1 稼働開始から20年が経過している。32年度に調査設計を行い長寿命化に向けて策定計画を立てる予定としている。

補正予算

林道の災害復旧  
工事を実施

林道上米良・大平線などの災害復旧工事に6千760万円、林地台帳作成システム委託料220万円、決算剰余金の財政調整基金積立5千万円など8千709万円を追加し、補正後の総額を28億3千780万円とする一般会計補正予算を議員全員の賛成で可決しました。



上米良大平線崩壊箇所

特別会計の状況

- 国民健康保険事業勘定会計  
4千67万円を追加  
総額3億590万円
- 国民健康保険診療施設勘定会計  
211万円を追加  
総額2億8千511万円
- 介護保険事業勘定会計  
2千271万円を追加  
総額2億3千428万円
- 後期高齢者医療事業  
262万円を追加  
総額2千755万円
- 簡易水道事業  
62万円を追加  
総額5千369万円
- 下水道事業  
既定の予算において歳入歳出を調整  
総額2千481万円

補正予算の  
質疑応答

◆一般会計

問1 森林環境譲与税について現在の状況は？

また、森林環境譲与税と地方交付税が同じ財源として取扱われることの無いように引き続き行政側としても意見をあげていただきたいか？

答1 森林環境譲与税については、私有林人工林面積と林業就業者数、人口割で算定されており本村への予定額は1千300万円となっている。譲与税総額が現在予定の20億から平成45年以降は60億になるため、これ以降は4千400万円になると試算されている。今後は、林業経営体の状況や所有者など調査を行い事業体の仕分けを行うという事で進め

られており、国の方針にしたがい適宜すすめていきたい。

本税は新たな需要に対する財源であり、その取扱いについては全国町村会においても強く要望をおこなっている。したがって今後は本税を活用し国土保全と森林の機能強化に取り組んでまいりたい。

問2 国民文化祭等実行委員会の内容は？

答2 平成32年度に第35回国民文化祭及び第20回全国障がい者芸術文化祭宮崎大会が合同開催されるにあたり、各市町村にもそれぞれ分野別イベントの開催要請が来ている。村としても各種関係者による実行委員会を設置し、年に2回程度の会議を実施しながら国民文化祭にふさわしいイベント内容

を検討していくこととする。

問3 トレーニング施設修繕の内容は？

また、老朽化等による不具合解消やより多くの方々に施設を有効利用してもらうために冷暖房の完備などは検討されていないか？

答3 消防設備である誘導灯と火災報知器に不具合が生じている為、修繕を行う。

施設の老朽化等については、今後何らかの長寿命化や改修の判断をしていく必要がある。特に屋根など多額の費用が生じると思われるため、有効活用できる補助事業等の検討を行っており、今後とも快適な施設形成に向けて検討を進めていく。

問4 公用車の修繕料として55万円は高額な修繕

だと思われるが内容は？

答4 今回の修繕は2台である。1台はリコールの対象とならないトランスマシジョンの故障（走行距離が10万km超であり補償対象外）が発生したための修繕。もう1台は職員の運転操作誤りによる自損事故によるもの。

今後は個人の責任という点についても検討を行い、このようなことがないように対処する。

◆診療所

問1 診療所のボイラー設備が設置後初めての清掃点検整備ということであるか？

答1 施設内の給湯についてはボイラー設備により処理を行っている。これまででは故障など不具合の都度、専門業者による修繕等を行ってきたが、

設置から13年以上経過しているため、今回清掃点検整備を行うこととした。

◆介護保険

問1 生活支援体制整備事業とは具体的に何をを行うのか？

答1 生活支援コーディネ

健全な財政運営

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率ともに早期健全化判断比率を下回る結果となっており、指標としては発生をしております。また実質公債費比率につきましては、3.9%で、早期健全化比率の25%を大きく下回っており、健全な財政運営を行っている判断されます。「資金不足比率」につきましても、対象となる公営企業では

公金の取扱いは  
慎重に

例月の現金出納検査でも指摘・指導を行いました。一部に慎重性に欠ける部分も見受けられました。財政では公金の重み、行政的には公平で迅速な住民サービスを心がける必要があります。



平成30年第3回定例会における議員賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名	結果	1	2	3	4	5	6	7
			中武智和	白石幸喜	上米良玲	濱砂勝義	上米良秀俊	中武勝文	濱砂恒光
報告第13号	専決処分した事件の承認について(平成30年度西米良村一般会計補正予算(第4号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
報告第14号	専決処分した事件の承認について(平成30年度西米良村一般会計補正予算(第5号))	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	西米良村税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	平成30年度西米良村議場備品導入事業の物品売買契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	平成30年度西米良村特別会計国民健康保険事業勘定会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成30年度西米良村特別会計国民健康保険診療施設勘定会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	平成30年度西米良村特別会計介護保険事業勘定会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成30年度西米良村特別会計後期高齢者医療事業補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成30年度西米良村特別会計簡易水道事業補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成30年度西米良村特別会計下水道事業補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成30年度西米良村一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成29年度西米良村一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成29年度西米良村特別会計国民健康保険事業勘定会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成29年度西米良村特別会計国民健康保険診療施設勘定会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成29年度西米良村特別会計介護保険事業勘定会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成29年度西米良村特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成29年度西米良村特別会計簡易水道事業歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成29年度西米良村特別会計下水道事業歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○

条例改正

住民税及びたばこ税の一部を改正

平成30年度地方税法等の一部を改正する法律のうち平成30年4月1日に施行された分を除き、税条例等の一部を改正するものです。主な改正内容としては次のとおりとなっています。

個人住民税

給与所得控除・公的年金控除を10万円引き下げ、基礎控除を同額引上げ(33万円↓43万円)

給与所得控除の上限となる給与収入を1千万円から850万円に引下げ など

たばこ税

加熱式たばこに係る課税方式の見直しを実施し、5年間かけて段階的に移行する。

法人住民税

資本金1億円超の普通法人等に対して、法人住民税等の電子申告を義務化。 など

50年目の要望活動

西都市、湯前町、西米良村の三市町村議会による国道219号改良整備要望活動を7月10日～11日にかけて宮崎・熊本両県へ、8月21日に国土交通省と県選出国会議員へ行いました。

要望内容は、  
1. 西都市瓢箪淵から西米良村小春間の早期整備促進  
2. 地域高規格道路広瀬バイパスの早期整備促進  
3. 湯前町上里付近歩道の早期整備促進

となっており、  
○外山宮崎県議会副議長  
：他県と比較してインフラ整備が遅れているので国道整備の必要性を関係者へ働き掛けていく。

○瀬戸長県土整備部長  
：広瀬バイパスは平成31年度完成予定であり、管内未完成区間の整備を重点的に進めていく。  
○河野宮崎県知事  
：国道219号は県としても重要性を認識しており県土整備部予算の約3割を投資している。国に対しても積極的に要望を進めていく。  
○国土交通省審議官  
：東京では道路整備は終わったとの声が聞かれるので、更に整備の必要があるとの声を上げて欲しい。  
との回答を受けました。

米良の庄 平成29年度(23期)営業報告

政府は「生産革命」「ひとづくり革命」をうちだし、景気のゆるやかな回復とともに雇用・所得環境の改善が続いているという。

本村においては高齢化の壁が押し寄せるなか人手不足問題、それに伴う働き方や仕事の生産性の効率化、また人材の育成等の問題を直視したうえでの政策が問われている。観光産業主体の本社においても、国の景気回復とはうらはらに、昨年から本年にかけて様々な天災により大きく経営内容を圧迫した状況であった。各施設様々な取組を行いながらも我慢の年となった。

今期各施設全体の客数は、75,095名(前年対比105%)、全体売上157,476,000円(前年対比98%)となった。また、20,956,000円の営業損失、営業外収益等により、当期損失が2,282,000円となった。



# 一般質問

濱砂 恒光



## 小・中学校へエアコンの設置を 学習環境の改善に向け検討している

今年の夏は、西米良村においても最高気温30度以上の厳しい暑さが続き、地球温暖化の影響で来年以降もこの夏のような猛暑が続くのではないかと

言われている。報道によると、県内の公立小中学校のエアコン設置率は26%にすぎないようである。中学校は災害等が発生した

時など、一時的な緊急避難所、生活物資供給などの救急センターともなり最近の暑さは我々が育った時代とは違います。次代を背負う子供達の健康を守るためにも暑さ対策としてエアコンを設置するべきではないか。

**教育長** 西米良村の気象データを見ると、最高気温30℃以上の真夏日は42日。35℃以上の猛暑日は7日となっている。過去5年間の平均気温も夏期休業前の7月については30℃を越す状況となっている。

現在の学校施設の空調設備導入状況については、小学校は普通教室7室、特別教室4室のうち普通教室1室、特別教室2室に整備されている。中学校は、普通教室4室、特

別教室8室のうち特別教室3室に整備をされており小中学校とも職員室・事務室、保健室は整備されている。

気象状況の変化に伴う熱中症発生のリスクが非常に高まっている現状を踏まえ、学習環境の改善にむけた普通教室、特別教室への空調設備導入を検討している。

空調設備の整備については、児童生徒の安全・安心なる学習環境を保持するという意味からも喫緊に取り組むべき事項と認識している。



白石 幸喜



## 村営バス・タクシー利用券を効果的に ▼ 実情厳しく課題もあるが検討したい

70歳以上の高齢者及び身体障がい者の皆さまの社会参加を促進し、生きがいと健康づくりに寄与することを目的として村営バス及びタクシー利用券が交付されている。しかし、利用率は20%台となっており利用される方が少ない状況にある。この利用率を上げるため新たな村営バス運行体制と交通機関連備の検討、また未使用の利用券については燃料代や一部商品券

として利用できないものか伺いたい。

**村長** 利用券については減少しているのが実情である。理由の一つとして高齢者の人口が減り、一方で元気な高齢者が増えてきたということが言える。また、介護認定者も減少しており、元気な方が増えて大変嬉しく思っている。この制度はいわゆる外出に支障がある方や交通手段がない方等への支援を目的としているので他の制度と同様に100%を望むということ自体あまり考えなくて良いと思っている。また、バス・タクシー券を社会福祉協議会の福祉有償運送代金に充てることは一考に値すると思うが、燃料代としての利用は少し難しいかと思っている。次に、村営バスの運行体制の検



討や民間業者と連携した新たな交通機関連備については現実問題として大変厳しい。本村だけでなく全国的にバス・タクシー・トラック等乗り物の運転手が大きく不足している。しかし、バス・タクシーは村民の生活を守るためになくはならないものとして命題と考えている。これからのしっかりと検討を加え運行が維持できるように最大限の努力を払ってまいりたい。

## 現地調査



猪がひやらんかった

ワイヤーメッシュ柵設置



おじいね〜

田地区（上米良）災害地視察



道がねえなっど

横野地区ダム湖浸食地



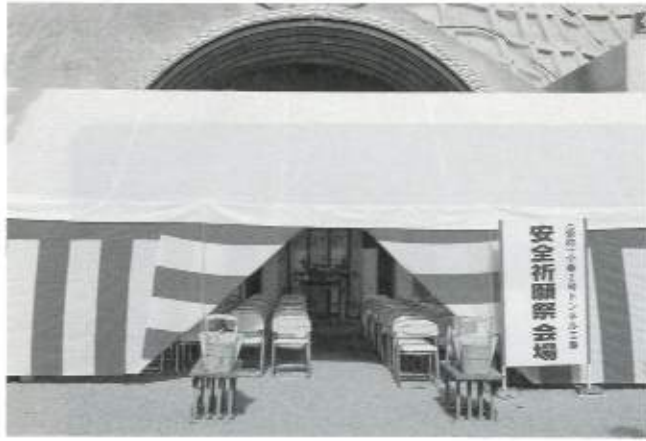
いつでくっちゃろかい？

小川・石打谷線



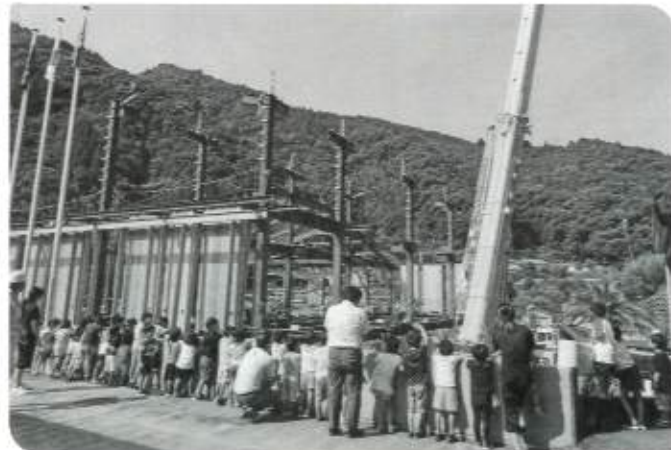
# トンネル工事が始まるよ

9月19日に国道219号小春工区の小春2号トンネル（仮称）起工式が行われました。  
トンネルの延長は483mで現在の道路より749m短縮されます。着実に道路改良が進むことで利便性の向上と交通安全に大きくつながるものと期待しています。  
工期は、平成31年10月31日までの予定です。



**順調です!**  
**新庁舎建築工事**

昨年2月から始まった新庁舎建築工事ですが、骨組となる鉄骨材の組み立ても終了し、大まかですが全体像がわかるようになってきました。  
9月末での進捗状況は建築主体工事が20.47%となっており、平成31年3月末の完成に向けて、順調に工事が進んでいます。  
また、ふたば園児の現場見学会も実施され大型クレーンが動くたびに歓声が上がっていました。



本会議終了後、黒木副村長より退任のごあいさつがありました。  
大変おつかれさまでした。

## 副村長退任のご挨拶 黒木 義光

退任にあたりまして、一言お礼を申し上げます。御礼を申し上げます。  
私9月末日をもちまして、4年間の任期を満了し副村長を退任致すことになりました。平成26年の10月より黒木定藏村長のもとで、副村長として村民の福祉の向上それから村政の発展等について私なりに取り組んで参りましたが、その職責を果たせたかどうか恥じる思いもござります。在任中、村民の皆様議員の皆様を始めと致しまして職員など多くの皆様からあたたかいご指導ご支援ご協力

を賜りましたことを厚く感謝申し上げます。私の職につきましては、地方自治法にありますように、副村長は村長を補助し、村長の命を受けて政策・企画を司り、その補助機関たる職員の担任する事務を監督することとされており、それを基本として勤めて参りました。その中においての私の思いといたしまして、議員の皆様村民の皆様から職員に対するお褒めの言葉は何より職員のやる気に繋がっていたように感じております。村政発

展のためにも今後とも役場職員に対しまして、至らぬ点に対する厳しい指導とともにあたたかいご支援をお願い申し上げます。また、次第でございます。また、少子高齢化人口減少が続く中、本村も各種の活性化対策事業に努めているところでありますが、今後の実施にあたっては国の制度を含め今まで以上に厳しくなってくるものと思われまします。人口減少時代に持続可能な村づくりを進めるため今後とも皆様のお力添えを頂きますよう改めてお願い申し上げます。副村長の職務を離れましても微力でありま



が、何かの形で今後とも西米良の発展のために関わって参りたいと思っております。結びになりますが、議員各位の皆様にも改めて感謝を申し上げますとともに西米良村議会そして西米良村の益々の発展を心からお祈りをいたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。4年間お世話になりました。ありがとうございます。



## 第2回にしめらイキイキ文化祭

10月14日“第2回にしめらイキイキ文化祭”が開催されました。515名が参加した文化祭では児童生徒による学校での学習内容や取組み、合唱や自治公民館活動、青年会活動の様子もユーモアを交え報告され世代を超えた貴重な学習成果発表の場となりました。

皆様の益々のご活躍を祈念いたします。



### 編集後記

台風シーズンも終盤、24・25号の上陸、接近で県内に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様にも心よりお見舞い申し上げ一日も早い復旧復興が行われることを祈念いたします。村内でも通行止めや停電など様々な影響がでたものの人的被害などなかったことは大変ありがたいことだと思えます。停電になってから懐中電灯を探すことになってはいけません。皆さんも日頃からの備えをお願いいたします。

(智和)

#### 議会広報編集特別委員会

委員長 白石 幸喜  
副委員長 中武 智和  
委員 濱砂 勝義  
上米良 玲